



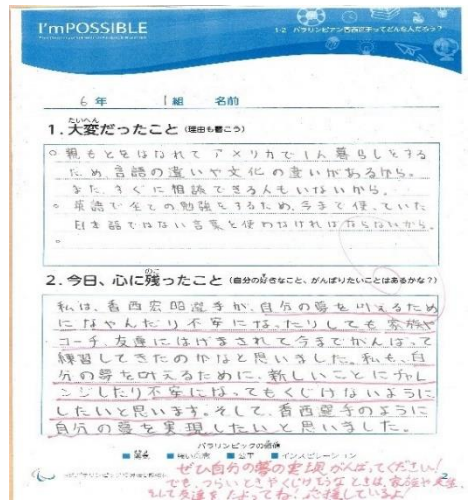
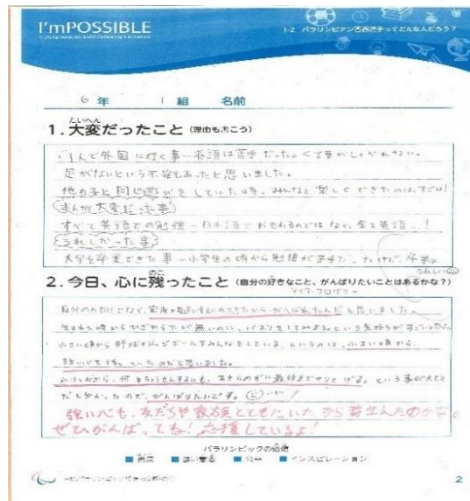


事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 茨城県 】

1 実践テーマ	【I, III, V】
2 実施対象者	古河市立大和田小学校 1～6年生 79名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① <u>教科名</u> ( 道徳, 体育 )</li> <li>② <u>行事名</u> ( オリンピック・パラリンピック学習会 )</li> <li>③ <u>その他</u> ( オリンピック・パラリンピックコーナーの設置 )</li> </ul> <p>(2) 地域における活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① イベント名 ( )</li> <li>② その他 ( )</li> </ul>
4 目標 (ねらい)	<p>○車いすバスケットボール選手の話の聞いたり学んだりすることにより、努力や目標をもつことの大切さについて、理解が深まるようにする。</p> <p>○実際に車いすバスケットボールを体験することで、車いすで生活する人や障害をもつ人に対する理解を深め、共生社会やパラリンピックへの関心が高まるようにする。</p>
5 取組内容	<p>1. パラリンピック教材「I'm POSSIBLE」を活用した事前学習</p> <p>パラリンピアン香西宏昭選手の映像や資料を使って、障害をもっていてもできることに全力で取り組む「勇気」と「強い意志」の大切さを学んだ。</p> <p>車いすバスケットボールの映像を見て、車いすバスケットボールを「やってみたい」という児童たちの気持ちが高まった。</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;">     </div>



## 2. オリンピック・パラリンピックコーナーの設置

校舎内1階の入り口付近と学校図書館の一角にオリンピック・パラリンピックについてのコーナーを設置し、オリンピック・パラリンピックのさまざまな種目への興味・関心を高め、世界の国々への興味をもつことができた。



## 3. オリンピック・パラリンピック学習会

- ① 講師：車いすバスケットボールチーム「Tochigi レイカーズ」選手5名
- ② 内容：
  - ・車いすバスケットボールについての講話、質問コーナー
  - ・車いすバスケットボールの実演
  - ・車いすバスケットボール体験（全児童）
- ③ 日時：平成31年1月15日（火）9時30分～11時30分
- ④ 車いすバスケットボール体験や質問コーナーの様子



時刻	活動内容	留意点
9:00	Tochigi レイカーズ選手5名来校 打合せ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館にて打合わせ。 トイレ…学童施設のWCを利用</li> <li>・進行は体育委員会児童が行う。</li> <li>・講師紹介・来賓紹介を含む</li> <li>・③～⑤の進行は講師が行う。</li> <li>・児童の様子を見て、トイレ休憩の時間をとる。</li> </ul>
9:20	児童は体育館へ移動	
9:25	児童集合完了	
9:30	オリピック・パラリンピック学習会開会行事 ①はじめの言葉 ②校長先生のお話	
9:40	③車いすバスケットボール・スポーツについての講話（10分）	
9:50	④車いすバスケットボール実演（5分）	
9:55	・車いす・車いすバスケットボール体験（50分）※途中休憩あり	
10:45	・試合形式での実演（10分）	
10:55	⑤質問コーナー（10分）	
11:10	⑥お礼の言葉	
11:15	⑦来賓の方より感想（10分）	
11:25	⑧終わりの言葉	

車いすバスケットボールチーム「Tochigi レイカーズ」の選手5名に来校していただき、学習会を行った。実際に車いすバスケットボールを行っている選手から話を聞くことにより、自分の目標を達成するために努力することの大切さを学ぶことができた。また、車いすバスケットボールを体験した児童は、「障害者と健常者が一緒に楽しめるスポーツだと知ることができた」という感想をもつことができた。

#### 4. 学校での取り組みを地域に発信



栃木レイカーズの皆さんに教えていただきながら、車いすバスケットボールの体験をすることができました。

大和田小学校で取り組んでいる「オリンピック・パラリンピック教育」について保護者や地域の方々に理解・啓発を図るために、上記のような資料を作成し、地域の全家庭に回覧していただいた。

#### 6 主な成果

○事前学習から「車いすバスケットボール」を扱ってきたので、児童が車いすバスケットボールの体験に意欲的に取り組むことができ、パラリンピックや障害者スポーツへの関心が高まった。

	<p>(児童の感想より) ※原文まま</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車いすでここまですごい動きをするとは想像もつかなかったので、すごかったです。</li> <li>・車いすバスケットは、近くで見ると迫力がありました。</li> <li>・2on2のプレーでは、障害者であることを感じさせない動きで、見ていてひきこまれてしまいました。</li> <li>・とても貴重な体験をさせていただきました。これからのオリンピック・パラリンピック、応援しています。</li> </ul> <p>○事前学習や学習会での体験を通して、今自分がしている勉強やスポーツなどをもっと頑張ろうと考える児童が多かった。</p> <p>(児童の感想より) ※原文まま</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼくも、バスケットをやっていて今日 Tochigi レイカーズのみなさんの試合をみて、ぼくもうまくなりたいと思いました。</li> <li>・私は、香西宏昭選手が、自分の夢を叶えるためになやんだり不安になったりしても家族やコーチ、友達にはげまされて今までがんばって練習してきたのかなと思いました。私も自分の夢を叶えるために、新しいことにチャレンジしたり不安になってもくじけないようにしたいと思います。そして、香西選手のように夢を実現したいと思いました。</li> </ul>
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>○障害があっても自分の限界に挑むパラ・アスリートの凄さを児童に実感させたかったので、全校児童全員に車いすバスケットボールの体験をさせ、その上で選手の皆さんに2on2のプレーをしていただいたこと。</p> <p>○児童が全員車いすバスケットボールをオリンピック・パラリンピック学習会中に体験できるように、Tochigi レイカーズの皆さんにご協力いただいて、車いすバスケットボール用の車いすを数多く用意することができたこと。</p>
<p>8 主な課題等</p>	<p>○校舎の構造的な問題（バリアフリーになっていない、障害者対応のトイレがない 等）で、選手の移動が不便だった。スロープや手すり、多機能トイレなど学校のバリアフリー化が課題である。学習会の会場となった体育館内への移動は市の選挙管理委員会より、スロープを借用し行った。そのために、講師の方のトイレは来校前に済ませておくか、トイレに行かなくていい準備をしてきていただいた。</p>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>○福祉体験と関連づけ、障害者スポーツについての学習を取り入れる。</p> <p>○オリンピックやパラリンピックについての図書を活用し、スポーツの素晴らしさについての学習を実施する。</p>